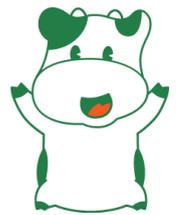


パルシステム群馬 「2030 ビジョン」

「2030年のパルシステム群馬がみたい姿」
をみんなで目指します。



<メインテーマ>

「食べる」「ひと」「つながる」
笑顔あふれる未来へ

<カテゴリー>

食べる

- 「食」の文化や価値を作り手とともに守っている
- 安全・安心なこだわりの商品がひろがっている
- 選ぶことの大切さを次の世代につなげている

ひと

- お互いがまなび、理解しあえるための場をつくっている
- 一人ひとりの暮らしに寄り添うことができている
- すべてのひとが活躍し、輝くことができる場所になっている

つながる

- 世代を超えて様々な団体とともに、
たすけあいの輪を地域にひろげている
- 環境、平和、地域を守る「なくてはならない存在」になっている

第14回通常総代会で特別アピールとして発信しました！

生活協同組合パルシステム群馬「2030ビジョン」

パルシステム群馬では、これからの「2030年にありたい姿」について組合員の声をもとに、総代の皆さんと一緒に一年間話し合ってきました。みなさんの声をもとに、第7期第14回臨時理事会で「パルシステム群馬2030ビジョン」を決定いたしました。

- ① 2030年のありたい姿の全体像を〈メインテーマ〉に表現しています。
- ② 〈カテゴリー〉は、2030ビジョンを実現するために、大切にしたいことを「食べる」・「ひと」・「つながる」に分類し、目指す姿を表現しています。



本総代会で、この新しいビジョンを「特別アピール」として組合内外に発信しました。
一緒に新たなスタートをしていきたいと思っております！！

なお、このような情勢の中での発表ですので、2020年度にはより広くビジョンの想いが伝わるよう、いろいろな取り組みをすすめてまいります。

※これまでのビジョン・ミッションは2030ビジョンに変わります。

～2030ビジョンの策定にあたって～

私たちのこれからの社会は、全体で助け合い、支え合いながら、ともに暮らしていくことがますます大事になっていく時代です。子どもたちの人数は減少しつつ高齢化がすすみ、世帯構成人数が減少していきます。環境の変化がすすむ中で、食の安全確保が難しくなることも懸念されます。2030年に向けても安心して暮らせる社会にしていくために私たちは何を大切に、どのように行動していくことが重要になるのでしょうか。

パルシステム群馬は「安全・安心な食」を基本に、一人ひとりの暮らしから社会全体を変えてきた生協です。生産者やメーカー等の作り手と、消費者である使い手がともに対等なパートナーとして、人や地域をつなぎ、支え合いながら安心して暮らせる社会にしていくことをもっとも大切にしてきました。これからの社会のためには、変わらず、食の安全を守り、高齢化をはじめとした社会的課題への対応をすすめ、人を大切にする社会をつくるパルシステム群馬の存在はますます大事になっていくと確信します。

パルシステム群馬だけでなく、理念をともにする多くの人たちと協力し合い、社会をつくっていくことも重要になってきます。組合員、職員、地域のひとたちも大切に、ともに手を取り合って笑顔溢れる地域社会づくりの実現を目指す「2030ビジョン」で、ともにしあわせになれる未来を切り開いていきます。